

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公開番号】特開2013-189598(P2013-189598A)

【公開日】平成25年9月26日(2013.9.26)

【年通号数】公開・登録公報2013-052

【出願番号】特願2012-58512(P2012-58512)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00
B 4 1 M 5/00 E
B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月31日(2014.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

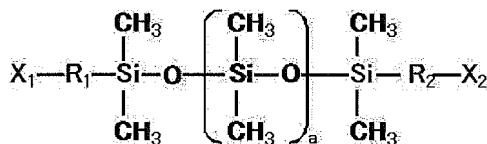
【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも水、顔料、バインダー樹脂として水分散性樹脂微粒子、水溶性有機溶剤及び一般式(1)で表されるシリコン系界面活性剤を含むインクジェット記録用水性インキにおいて、前記水溶性有機溶剤として沸点が180℃以下の(ポリ)プロピレングリコールアルキルエーテル類を1種以上含み、前記水性インキ組成中における前記(ポリ)プロピレングリコールアルキルエーテル類の含有量が15重量%以下であることを特徴とするインクジェット記録用水性インキ。

一般式(1)

【化1】



(式中 R₁、R₂は炭素数1～6のアルキル基であり、X₁、X₂は一般式(2)で表されるポリエーテル(ポリオキシアルキレン)基である。)

一般式(2)

【化2】



(式中、R₃は水素原子または炭素数1～6のアルキル基または(メタ)アクリル基であり、EOはエチレンオキシド基であり、POはプロピレンオキシド基であり、bが1以上の整数であり、cが0以上の整数であり、さらにb+cが1以上の整数である。EO、POの順序についてはランダムであってよい。式中aは10以上80以下の整数を表す。)

【請求項2】

前記(ポリ)プロピレングリコールアルキルエーテル類がプロピレングリコールモノ(炭素数1～4のアルキル)エーテル、(ジ)プロピレングリコールジ(炭素数が1のアルキル)エーテルから選ばれる少なくとも1種であることを特徴とする請求項1記載のインクジェット記録用水性インキ。

【請求項3】

請求項1または2記載のインクジェット記録用水性インキからなるインキセットであって

かつ、シアンインキ、マゼンタインキ、イエローインキ、ブラックインキを含む4色以上のインキセット。

【請求項4】

インキの液滴を吐出させて印刷基材上に付着させて印字を行うインクジェット記録方法であって、前記インキとして請求項1または2記載の水性インキを用いることを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記(ポリ)プロピレングリコールアルキルエーテル類がプロピレングリコールモノ(炭素数1～4のアルキル)エーテル、(ジ)プロピレングリコールジ(炭素数が1のアルキル)エーテルから選ばれる少なくとも1種であることを特徴とする上記インクジェット記録用水性インキに関する。

また、上記インクジェット記録用水性インキからなるインキセットであって、

かつ、シアンインキ、マゼンタインキ、イエローインキ、ブラックインキを含む4色以上のインキセットに関する。

さらに、インキの液滴を吐出させて印刷基材上に付着させて印字を行うインクジェット記録方法であって、前記インキとして上記水性インキを用いることを特徴とするインクジェット記録方法に関する。